

# 韓国人留学生を対象にした漢字指導法の一考察 —書かなくて覚える漢字—

孫 在 奉

A Consideration on the Method of Teaching “Kanji” to Korean Students:  
How to Learn Kanji Without Writing

Jaebong SON

## 【要 旨】

天地創造の話でかかっている天地文は読んで書くまでは長い時間と苦労が同伴する。

もし、覚えたとしても画の数と形が似ているので区別がつかないし、すぐわすれる。

漢字を教えている学者は「教師への要求が多岐にわたっているにもかかわらず、漢字指導に関する具体的な事例がまとめられているような書籍があまり多くない」<sup>1)</sup>と指摘している。母国語がハングル韓国の学生に、いままで通り数が多い一字一字を書きながら暗記させるには限界がある。

しかし、非漢字圏であっても書くのはできないのだが話せるのはすぐできる。この話すところをうまく生かせば書かなくてもより簡単に覚えられるのではないのか。

教えるための分類としては、

- 1) 画を一つ加えるか延長して覚える。
- 2) 一部の位置を覚える。
- 3) 基本キーワード（基本漢字と部数）を利用して生活文の中に入れ込んで覚える。

と、3つに分けて指導方法を考察した。

## 【キーワード】

ひと一人一イ みず一水一ミ くさ一草一艹 て一手一扌 いし一石

用して生活文の中に入れ込む

### 1. 指導のための分類

教えるための分類としては、

- 1) 画を一つ加えるか延長して覚える
- 2) 一部の位置を覚える
- 3) 基本キーワード（基本漢字と部数）を利

### 2. 画を一つ加えるか延長して覚える。

- 1) いち、に、さんは棒の数がふえるよ。  
一 二 三
- 2) ほすのは水平、千はななめ。みずがあつ

てほすのはあせだよ。

干 千 汗

- 3) 工はチョンマゲなし、土と土はながさがちがう。

工 土 土

- 4) 一本は日、二本は目。

口 日 目

- 5) 日二つはしょう、三つはすいしょ(水晶)。

日 昌 水晶

- 6) 白くなって、あと一つで百才。

白 百

### 3. 位置でおぼえる。

- 1) 左はきゅうきゅう(旧)、下はがんたん(元旦)。

手でたんにな、うえもした土かきね。

旧 旦 担 垣

- 2) 上にのびる右、十字はふるい。

石 古 右

- 3) 上は自由、下は甲、上下申す。

田 由 甲 申

- 4) 月はいぶくろ、たんぼで力を出すのは男だよ。

田 胃 男

- 5) 左に伸びるとにゅう、はいる。

人 入

- 6) ひとが両手をひろげて大。

人 大

- 7) また(又)のチョンはふとい、右かた(肩)ケンケン、うえふたして天。

大

太 犬 天 夫

- 8) 左にのびてだいじょうぶ、木のつえ。

大 丈 杖

- 9) 人は休み、きのへそはからだ。

木 休 体

- 10) 二つははやし、三つはもり。

木 林 森

- 11) 少年はちいさくない、しょう(省)は少年の目。

小 少 省

- 12) 人と仲良く、水のおき(沖)あい。

中 仲 沖

- 13) くしにさされる心、かんじゃ(患者)さまの心。

申 患

- 14) さとにチョン、チョン、チョン、チョン。くろくなる。

里 黒

### 4. 生活基本文で覚える。

- 1) うえしたはさかさまだよ。

とうげは山の上、下。

上 下 峠

- 2) 上から、もう一本立てて、止める。

上 止め

- 3) ひとつ、ひげのせんせい、二つはがくせい。

先 生

- 4) きずな(絆)は半分ずつ糸でむすぶ。

絆

- 5) 歩きながら水で交渉。

歩き 交渉

- 6) はね(羽)をつけてほんやく、水と草を番するのははんしゅ(藩主)。

翻訳 藩主

水田で米は年に一度。

番

- 7) むしのこん虫は、あしがつく。

中 虫

- 8) ぐ、ぐなくとり(鳥)はとさん。

鳥 鳩

- 9) 山のようないしは、いわ。

石 岩

- 10) きゅうのつぎは、まる。

九 丸

- 11) 口二つはカイ(回)になる。

口 回

- 12) 一つはしろ、二つは自分。

白 自

- 13) 士はそう(壮)、いぬ(犬)はじょうきょう(状況)。

- 壮 状  
 14) 六人まじわって、こうしょう。  
 文 交  
 15) くさがばけて、花になる。  
 化 花  
 16) 点点あめ、山はりょう。  
 雨 両  
 17) 日を立ておと（音）がでる。  
 立 音  
 18) 家の中、こどもが字をかく。  
 子 字  
 19) やまはしま、四つあしはとり。  
 島 鳥  
 20) 口はみぎ、工はひだり。  
 右 左  
 21) 言はどうよう、手でゆらす。  
 謡 揺  
 22) 月はあたまのう、こころのぼんのう。  
 脳 悩  
 23) うまはつのなし、うしはつのあり。  
 午 牛  
 24) のはらにすいげん（水源）がある。  
 原 源  
 25) ひとのためでも、にせものはいや。  
 為 偽  
 26) こめでつくった、とうぶん（糖分）。  
 唐 糖  
 27) ひがうえにのび、ほのうのえん（炎）。  
 火 炎  
 28) しょうか（消化）はみずで、けずるはか  
 たな（刀）で。  
 消 削  
 29) にんたいして、言でみとめる。  
 忍 認  
 30) 人がしんにゆう、みずにしんすい。  
 侵 浸  
 31) かめん（仮面）はひとがはんたい。  
 反 仮  
 32) お金をだして、音楽かんしょう。  
 監 鑑  
 33) 建築、ひとはけんこう。  
 建 健  
 34) て（手）があく（空）ひとは、ひかえし  
 つで。  
 空 控  
 35) かちょうは、ことばでしじ。  
 果 課  
 36) 王のとくちょう、びせいぶつ（微生物）  
 は $\pi$ 。草の一本は薔薇。  
 微 微 薔薇  
 37) みずのあにき（兄貴）は、げんきょう（現  
 況）のまま。  
 兄 況  
 38) 夜のみずは、なんのえきたい（液体）。  
 夜 液  
 39) おさらでかんとく、えつらんは見る。  
 監 覧  
 40) つゆは、雨のけつ路。  
 路 露  
 41) いらいは東（たば）で、水の頼はせとな  
 いかい（瀬戸内海）。  
 頼 瀬  
 42) れきし（歴史）にふたする、り（吏）。  
 史 吏  
 43) 山のひみつ、虫のはちみつ。  
 密 蜜  
 44) 水のかんこう（漢江）、口でなげくたんせ  
 い。  
 漢 嘆  
 45) 手シキふく、てぬぐい。  
 式 拭  
 46) ようきは水でと（溶）ける。  
 容 溶  
 47) 門の王様、うるう（閏）年、水がついて  
 うるおう。  
 閏 潤  
 48) しそう（思想）は十、おんし（恩師）は  
 大きい。  
 思 恩  
 49) 市はあね、すえはいもうと。  
 姉 妹  
 50) 山のはいは、すみび。  
 灰 炭  
 51) きんゆう（金融）はむし、おかのかんか

- く (間隔)。  
融かす 隔
- 52) 土のけいかい、きんぞくかがみ。  
境 鏡
- 53) 南の犬は、こうケンする。  
犬 献
- 54) せんそうは、たんじゅん (単純) などこ  
ろで。  
単 戦
- 55) こうぼ (酵母) はお酒からつくるよ。  
孝 酵
- 56) しらが (白髪) の王はこうてい (皇帝)。  
王 皇帝
- 57) まいど、水をわたる。  
毎度 渡る
- 58) こころのきょうふ。  
布 恐怖
- 59) 水あるつまはすごいぞ。  
妻 凄
- 60) ひとにまかせて、女がにんしん。  
任せる 妊娠
- 61) 二人の夫、日にかえる。貝でしょうさん。  
替わる 贅美
- 62) 日、月はあかるい。つきつき、とも。  
明るい 朋
- 63) 手で広げてかくだい、糸の宿でしゆくしょ  
う。  
縮 拡大
- 64) 車でじん (陣) とって、東にちんじょう  
(陳情)。  
陣営 陳べる
- 65) りょうてい (料亭) に人がと (停) まる。  
亭 停
- 66) 貝をためて、ちょきん (貯金)。  
貝 貯金
- 67) お皿に成をのせ、も (盛) り合わせ。  
成功 盛り
- 68) 八はしょう (商)、十はてき。  
商人 一滴
- 69) 水が四方からとまるじゅうたい。  
止まる 洪滞
- 70) なかにしん (臣) がいる、くら (蔵)。

- 蔵 臈
- 71) お米のけしょう。  
庄内 化粧
- 72) おもては衣、むぎは冬なし。  
表 麦
- 73) くさをのせ、いじめする。  
可 苛め
- 74) おもてもうらも、もとは衣。うらは里。  
表 裏
- 75) 火でしぜん (自然) にもえる。  
然 燃える
- 76) 東は日、やくそく (約束) は口。  
東 東
- 77) 西に示していっぴょう (一票)、西の木は  
くり (栗)。  
票 栗
- 78) 木の市はかき。  
市 柿 姉妹
- 79) 戸のしたを大きくもど (戻) る、戻ると  
きなみだ。  
戸 戻 涙
- 80) お寺の一人さむらい、二人でまつ。てに  
もって、時間すごす。  
寺 侍 待 持 時間
- 81) 木と目のそうだん、竹のはこ。こころで  
そうぞう。  
相談 箱 想像
- 82) 晴れの日、言でようせい。  
青い晴れ請ける
- 83) 心のじょう、米のせいまい。  
青い 性情 精米
- 84) しゅっちょう (出張) はゆみ (弓) を持つ  
て、つうちょう (通帳) はぬの (布) の  
カバー。  
長い 通帳 張る
- 85) 人はじょこう、ごぎとはじょがい。  
余す 徐行 除外
- 86) 言のちしき、糸でおり、しょくぎょうは  
耳。  
織る 知識 職業
- 87) 土でていぼう、手でていきょう。  
是 堤 提げる

- 88) 手でていこう、人間のさいてい、家のそこ。  
低い 抵抗 底
- 89) 木のえいよう、ふろ(呂)のえいぎよう。  
学 栄養 営業
- 90) 烈々かんげい、衣がさ(裂)ける。  
列 烈しい 決裂
- 91) 木のけんりよく、見るかんこう、歓迎会にけっせき。  
権力 観光 歓迎
- 92) 言のこうえん、貝でこうばい。  
講演 構う 構造 下水溝
- 93) 車に乗せてれんらく、車が欠けてじゅなん、せんぱい(先輩)こうはい(後輩)は非の車  
先輩。  
連れる 軟膏
- 94) 土のていぼう、女のぼうがい。  
方 坊主 妨害 消防
- 95) こうぎ(講義)は一方、ぎろん(議論)は両方。礼儀は人に。  
講義 礼儀 議論
- 96) 足で道路をあるく、わいろは貝、貝があり。  
各 路 賄賂
- 97) どうりょう(同僚)はひと、いりょう(医療)はびようき。  
寮 療養 同僚
- 98) 手をあわせ、ひろう。  
合う 捨得
- 99) 一のごう、つち(土)でしゃ。  
合う 舍
- 100) 手でしゃ(舍)をすてる。  
舍 捨てる
- 101) ももは木のとう、手でちょうせん。  
兆し 桃 挑戦
- 102) じまんは心、まんがは水で描く。魚の曼はうなぎだよ。  
漫画 自慢 鰻
- 103) てではくしゅ、水で一泊。  
白 拍手 宿泊
- 104) 日があたたか、手でしえん。  
支援 暖房
- 105) 君はむれのなかのむら、言のしょうさい。  
群 詳細 太洋 栄養
- 106) なみ(並み)の日はふつう、がくふは言。  
並み 普通 晋 譜面
- 107) ごかいは言、ごらくは女。  
呉 誤解 娛樂
- 108) こいは心、ふゆのへんこう。  
亦 変更 恋愛
- 109) 人のさいけん、いねがつもる。  
責める 積む 債権
- 110) 草のやさい、手でさいてん、しきさいさ。くさく。  
采 野菜 採点 色彩
- 111) てでつみ、てきをはなす。  
水滴 摘み取り 敵
- 112) 水の争いはじょうすい、青いしずか。  
争う 浄水 静か
- 113) ほきんは力、ひぐれの夕暮れ。はかはつち。  
莫 募金 墓 夕暮れ
- 114) のどがかわく、口でかつ、手であげる。  
渴く 掲載
- 115) 糸にそめコン(紺)いろ。はちみつあまい木のみかん。  
甘 蜜柑 紺色
- 116) 力でかんべん、土でたえる。  
甚だ 堪える 勘弁
- 117) くさの母はいちご。  
母 每 莓
- 118) 心のこうかい。木のうめ。  
每 海水 後悔 梅
- 119) ム口の高だい、たい。  
ム 口 台風
- 120) 水をム口でなおす政治。  
ゝ 政治
- 121) 若いことばで受諾しよう。  
若い 受諾
- 122) 就職は京の犬でない。  
尤 就職
- 123) 手で大きくしめして、捺す。

- オ 奈良  
捺印
- 124) まき、死たい、草は葬式。  
+ 死 +  
葬式
- 125) 女がかれ氏によめにいく日。  
女 氏 日  
結婚
- 126) 石を九、十、くだく。酒を九、十酔う。  
石 九 十  
砕く
- 127) 水の皿、日がつくと、温度。  
お皿 温泉
- 128) 帝王どうし、糸で締結。  
帝王 締結
- 129) てで屋をしっかりとぎる。  
屋上 握手
- 130) 昔も、一本未らいは、たけにこくせき。  
竹 未 昔  
国籍
- 131) いね、口、王様。ほどほど。  
禾 口 日程
- 132) 竹に理由あり、ふえになる。  
竹 由  
笛
- 133) 走って一本、こえる。  
走る 戊  
越える
- 134) 米の舞は、となりどうし。  
卍 隣  
近隣
- 135) てをまげて投げる。うつ。  
手 投  
打撃
- 136) 長い友だち。チョン、チョン、チョン。  
長い 友達 多  
髪型
- 137) 友だちが手で、ゆれ歯を抜すいた。  
オ 友  
抜ける
- 138) 食をかけてのむ、布でかざる。  
食 飲料 ご飯 飾る
- 139) せんもんか（専門家）に口 no、ほうもん  
（訪問）は口 OK。  
門 訪問 専門
- 140) 十はふるい、五はわれわれ。  
口 古い  
吾
- 141) 千のくちはベロ、舌は水あってかっぱつ。  
舌 活動
- 142) ム月ヒヒはのう、チョンチョンくま、心  
は態度。  
能力 熊  
態度
- 143) ムハクはしゅん、しゅんこうは立てる。  
爰  
俊才  
竣工 駿馬
- 144) いたるとうちやく（到着）、人をたおす。  
至る 到着 面倒
- 145) 夫人、夫人、両替、替え玉。  
夫 両替  
替え玉
- 146) 糸でしょうかい、手でしょうたい。  
召集 沼 超える 紹介 招待 昭和
- 147) 貝でばいしょう、土でばいよう。人のい  
ちばい。  
音  
倍 賠償 培養 陪席
- 148) 二人のかれ氏、手でひろうえん。  
皮  
彼 披露宴 被害 疲れ
- 149) 言でつつしむ、人にわずか。  
堇  
僅少 謹慎
- 150) くろは十字架。右、若干ななめ。  
右  
若 古い 苦勞
- 151) 銃は金ぞくだ。  
充分 銃
- 152) 言できろく。糸はきげん、心のきじつ。  
自己 紀元 記録 忌日
- 153) みどりは糸、えんはぶた。きろくは金に。  
泉

- 記録 新緑 因縁
- 154) 貝をかしたし、衣のふくろ。  
代  
貸し金 お袋
- 155) わざは手で、げいしゃは女、山の岐路。  
支える  
技術 妓女 岐路
- 156) 奇談。  
寄宿 長崎 綺麗 騎馬
- 157) 土はきほん、さぎはけっせ。  
其の  
旗 碁 基本 詐欺 期間
- 158) 人の一億、心のきおく。  
意思  
一億 記憶
- 159) 二人のやくにん、病気のえきびょう。  
爰  
役 疫病
- 160) 手でせんたく、言でつうやく。  
尺  
通訳 沢山 駅前 選択
- 161) 水のうみぞい、金のなまり。  
仝  
海沿い 鉛
- 162) 心のえつらく、するどい金。門の閲覧。  
兑  
鋭い 悦ぶ 閲覧
- 163) 人が住む、二人が往来。木の柱、水に注意。  
主  
柱 注意 往復 住む
- 164) 心のじひ、石のじしゃく。  
茲  
慈悲 磁
- 165) しきんは貝、女の姿勢。  
次回  
姿勢 資金
- 166) くさのべっそう、衣のそうしょく。  
壮年  
別荘 裝飾
- 167) 大きい将軍、奨学金あつめる。  
将軍 奨学金
- 168) 木の年 ざいもく、貝のざいさん。  
才  
材木 財産
- 169) くさはちょしゃ、竹のおはし、にるもの。  
者  
箸 煮物 著者
- 170) 夕方までのこる。あさいみず、あしてじっせん。  
尙  
実践 金銭 残り 浅い
- 171) 人にかりる、心のおしい、金の錯覚。  
昔  
惜しい 錯覚 借りる
- 172) 表彰に羽をつける。  
章 表彰
- 173) 手で最高のもの、さつえい。  
最高 撮る
- 174) そっきんはひと、水をはかる。  
法則 側近 測量
- 175) きのまくら、水にしんすい。  
尤  
枕 沈む
- 176) 水のなみ、石ではかい、女のろうば。  
皮  
破壊 波 老婆
- 177) 人のへんけん、糸でへんしゅう。  
扁  
偏見 編集
- 178) 土のつば、言葉のひょうか。  
平成  
坪 評価
- 179) うつ大砲、水のあわ、食べてほうしょく。  
てでだく、いだく。  
包む  
泡 飽食 抱く 大砲
- 180) 水のうら、手でたいほ、家のテンぼ。  
甫  
逮捕 店舗 浦
- 181) 副はかたな、示すふくおか。  
冨  
幅広い 福岡 副社長
- 182) 木のもくひょう、水にひょうりゅう。

- 票  
漂流 目標
- 183) 水と草が両ほう満ちる。  
満足
- 184) 刀でみぎわり、車でちよっかつ。  
殺害 直轄 割引
- 185) 手でていこう、船でこうかい。  
亢  
航海 対抗
- 186) 馬でじっけん、木を持つけんじ。刀をもつ剣士。  
貪  
剣 危険 検事 実験
- 187) 刀のけいじ、土のも型。  
开  
形態 模型 刑事
- 188) 木でかけるはし、貝のしゆくが。  
追加 祝賀 架け橋
- 189) 女のよめ、稲でかせぐ。  
家  
稼ぐ 嫁
- 190) 刀でしんぶんそうかん、女のかんしん。  
干す  
汗 肝 奸臣 創刊
- 191) 人のじゆきょう、水でぬれる。  
需  
濡れる 孺人 儒教
- 192) うらみはこころ、限度はせいげん。  
良  
限度 恨み
- 193) 脚は身体のいちぶ。  
退去  
脚 却下
- 194) 木のがいろん、心のがいたん。  
既に  
概論 概嘆
- 195) 水でけってい、手でえぐる。  
決める 扶る
- 196) けいさつの言で、馬がおどろく。  
尊敬 警察 驚く
- 197) 力のこうろう、攻めるこうげき。  
工
- 功勞 攻撃
- 198) 木のひつぎ、竹のくだ。  
官民  
管 棺 旅館
- 199) 半径はふたつ、あやしい心。茎はくさ、糸の経済  
茎  
茎 怪しい 経済 半径
- 200) 穴のどうくつ、手でほる。  
屈  
掘る 洞窟
- 201) 手であつかい、糸でがっきゅう。  
及ぶ  
汲む 学級 扱う
- 202) 奴のどりよく、奴の心はおこる。  
奴ぬ  
努力 怒る
- 203) 都をぼうぎょう、貝もつてとばく。  
者  
賭ける 都
- 204) 木のきり、からだのどうたい。  
同じ  
洞 胴体 桐
- 205) 棒一つはへい、家でやすくれんか。  
兼ねる  
廉価 乗
- 206) 金のすず、歯のねんれい。  
令  
領事 年齢 鈴
- 207) 人のりんり、言のろんぶん。車のしゃりん。  
命  
論文 車輪 倫理
- 208) 米で立つのはこな、タケが立つとカサ。  
立  
米粒 笠
- 209) 一日ひとばん、力のべんきょう。  
免れる  
挽く 勉強 晩年
- 210) 砂はすくない、女はきみょう。  
少し  
妙 秒 砂

- 211) 手で苗をうえ「えがく」、けもののねこ。  
 苗  
 猫 描く
- 212) ヒは日頃、火はぼんのう。化けてかたむく。  
 頁  
 頃 傾く 煩惱 頃
- 213) 迫力のはせてね。  
 白  
 宿泊 迫力 伯父 拍手
- 214) かいぼうはメスで。  
 音  
 部分 解剖
- 215) 貝をわけると、まずしくなる。  
 分ける  
 粉 貧しい 雰囲気 お盆
- 216) いとでけいぞく、言葉で売りよみ売  
 継続 読む
- 217) いねでよろこんだら、税金だせ。  
 禾  
 秘書 税金 私
- 218) 性別は女のおなか、性格は心。  
 生  
 姓名 性別
- 219) 翻訳ははねつけて。  
 番う  
 審判 翻訳
- 220) ひのおとはあんごう。もんのおとはくらやみ。  
 音  
 暗号 闇
- 221) ヒは日頃、火はぼんのう。化けてかたむく。  
 簡易 太陽 お湯 揚げる
- 222) なまりは金ぞく、水のえんがん。  
 仝  
 鉛 沿岸 船
- 223) 玉のがんぐ、家のかんせい。  
 元  
 玩具 完成
- 224) 預金はページに、里のはのらは。  
 予  
 預金 平野
- 225) よくは欠ける、余裕はそでで。よくそうの水。  
 谷  
 欲心 浴槽 余裕
- 226) 一般的に手であんぱん。  
 舟  
 船 運搬 一般
- 302) 食べると耳にしたけど、えさだった。  
 食事 耳  
 餌
- 303) 一寸の木は村になる。  
 木 寸  
 村
- 304) 田んぼで力は。おとこだ。  
 田 力  
 男
- 227) ぐうぜん会った人、心はぐちばかり。  
 禺  
 隅か 愚か 偶然
- 228) 占いしょうてん、ねばるこめ粘土。  
 占う  
 点々 粘る 商店
- 229) 二人でせいふく、言でしょうめい。  
 正しい  
 征服 証明 症状
- 230) いどは糸で、偉い人。  
 韋  
 緯度 衛星 違う 偉大
- 231) 王のちんみ、しんさつは言で。  
 參  
 珍味 診察
- 232) 口でせいしょう、女のしょうふ。  
 昌  
 齊唱 娼婦
- 233) みず酉はおさけ、お酢はお酒になる。  
 酉  
 清酒 酸素 お酢
- 234) 人にでんたつ、ころがる車  
 云  
 芸術 運転 伝える

- 235) 火でかんそう、手でそうさ。  
操作 資金繰り
- 236) 効果はちから、糸でしぼる。  
交流  
効果 郊外 学校 絞る 比較
- 237) 心のかんどう、水のげんしょう。  
感動  
減少 惑星
- 238) 水はかつ、酒はざんこく。  
告訴  
残酷 浩
- 239) 人にていきょう、水のこうずい。  
共  
洪水 供託
- 240) かん単、弓でさん弾。  
散弾 簡単
- 241) 口でこきゅう、手であつかう。  
及  
取り扱い 呼吸 学級
- 242) 西と酉はぼうひとつ。  
西洋  
酉の時
- 243) 家にきたおきゃく、金額は客のページに。  
各々  
金額 お客
- 244) 新郎は太郎、浪人はなみだ。  
良  
新郎 浪人
- 245) 木のきかい、石のいそ。  
幾ら  
機具 磯つり
- 246) 兆戦はまがっている。  
兆し  
排除 非
- 247) つかれもびょうき。  
皮  
被る 疲れる 波
- 248) 田んぼの町、火のとうだい。  
丁  
山頂 灯台 市町村
- 249) 言で十あれば計算、はかり。  
言葉 計算
- 250) また、おんなか。この奴。  
女  
奴 又
- 251) お寺の一日、時間。  
日  
時間
- 252) 手で印かんをもっておさえる。  
抑  
印 才
- 253) 毎日音がでるのは、暗くなってから。  
日  
音 暗い
- 254) 糸の冬はおわりだよ。  
糸 冬  
終了
- 255) 糸もつ氏はかみ。  
糸 氏  
紙
- 256) 手で軍人をしきする。  
才 軍人  
指揮
- 257) 手で甲をおす。  
才 甲  
押す
- 258) 女に因ってこんいんする。  
女 因  
婚姻
- 259) 糸の田んぼはこまかいんだよ。  
糸 田  
細かい
- 260) 家の女はあんぜん。  
ハ 女  
安全
- 261) 日に日に生まれるほし。  
日 先生  
星
- 262) 言に忍耐、にんしき。  
言語  
認可 忍
- 263) いねに火がつくあきだよ。  
禾 火事  
秋

- 264) 一斤あたらしい、見てしたい。  
新しい 意見  
親しい
- 265) いねとまめ、科目。  
禾 斗  
学科
- 266) 口をあけた貝はぜんいん。  
口 貝  
委員
- 267) 食べるのに欠席、のみに行こう。  
食事 欠席  
飲料
- 268) 水の中、永えんにおよごう。  
氺 泳ぐ  
永遠
- 269) 亜細亜の心は、悪くない。  
亜 心  
悪い
- 270) 今、ウンはかげでやろう。  
卩 龕  
陰
- 271) 鳥は口でなく。なる。  
口 鳥  
鳴く
- 272) 刀で七つにきること。  
七 刀  
切る
- 273) 竹を合わせてこたえ。  
竹 合う  
答え
- 274) 弓を一本、ひっぱる。  
弓 一  
引力
- 275) と(戸)のはね(羽)はおうぎになる。  
戸 羽  
扇
- 276) 雨の云は雲。  
雨 云  
雲
- 277) 人にかのうかきいてみよう。  
イ 可能  
何

- 278) 舌が辛いと辞めましょう。  
舌 辛い  
辞任
- 279) 日、月あわせてあかるい。  
日 月  
明月
- 280) むかしのこと、手でそちしよう。  
オ 昔  
措置
- 281) 半分、刀でさいばんしよう。  
半ば リ  
判断
- 282) 吉の言はつめておこう。  
言語  
吉 缶詰

## 5. おわりに

音読み、訓読みがある日本語でも韓国の漢字より、ある部門は覚えやすいところがある。

かいすい(海水)、こうかい(後悔)、しこう(思考)、はっこう(発酵)のように海と悔は同じ「カイ」、考と酵は「コウ」として読んでいる。しかし韓国はそれぞれ海水(ヘス)後悔(ふフェ)思考(さゴ)発酵(ばるヒョ)と読む。「へ」と「フェ」「ゴ」と「ヒョ」に同じ形の漢字を別に読まないといけないのが覚えにくい原因の一つにもなる。

生活文は無理して組み合わせたところが多い。漢字本来の文字の意味等も生かしながら文章はもっと楽しく、わかりやすい表現で整理する課題が残っている。

書かなくても繰り返して文章を読んで、キーワードになる簡単な漢字、部数を理解するようになると、もっと漢字に興味が出て、自分なりの楽しい文章が出来上がることと思う。

**【註】**

- 1) 濱川祐紀代2010.「日本語教師のための実践・漢字指導」株式会社くろしお出版。

**【参考文献】**

- 濱川祐紀代2010.「日本語教師のための実践・漢字指導」株式会社くろしお出版。
- 박원길、「日本語漢字暗記博士」東洋文庫。
- 本名信行1994.「異文化理解とコミュニケーション」三修社。